



阿宮地区の人口

(上出西1を含む)

	令和7年 10 月末時点 (前月末比)	令和6年 10 月末
世帯数	137 戸(-1)	142 戸
人 口	363 人(-2)	388 人
男 性	160 人(-2)	173 人
女 性	203 人(±0)	215 人

12 月のクラブ活動

晩俳句会(吟行)	8 (月)
グラウンド・ゴルフ	毎週(水・土)
習字の会	5 (金) 19 (金)
阿宮川柳会	17 (水)
カローリング	10 (水) 24 (水)
フォークダンス阿宮里	1 (月)
ビーズの会	15 (月)
阿宮神能会	随時
あぐ花の会	随時

12 月の主な行事

1 (月)	歳末特別警戒出動式
2 (火)	西野小1年昔遊び
7 (日)	阿宮神能会(スサノオホール)
10 (水)	ふれあいサロン
17 (水)	コミカフェ
21 (日)	門松づくり
21 (日)	餅つき体験
25 (木)	平成会
()	

燃えないごみ

★水曜日です★

埋立ごみ
空き缶(飲料用)
12 月 3 日
ペットボトル
12 月 10 日
破碎ごみ
12 月 17 日
空きびん
12 月 24 日

阿宮地区文化祭 10/26

まちづくり部

地域の皆さんによる、さまざまなジャンルの作品展示の他、花苗・果物・出西陶芸クラブの皆さんによる展示販売と陶芸体験、健康コーナー、防災コーナー、アルミ缶回収、またキッチンサポーターさん自慢の炊込みご飯の販売など各ブースは大好評でした。

集会室では、あいさつ運動標語と人権標語の表彰を行い、イベントのオープニングは昨年に続き石見神楽東神楽同好会による演舞、そしてフォークダンス阿宮里による素敵なダンス、最後は平田吹奏楽団による迫力ある演奏に圧倒されました。

役員の皆様には早朝より会場設営、後片付けなどご協力をいただきありがとうございました。

斐川西中ボランティア感想

- ・お客さんに笑顔で話しかけるか不安だったけど、地域の方が優しく教えてくださり楽しく活動することができました。高校生として参加できる機会があれば行きます!(洲浜心優)
- ・最初は不安でいっぱいだったけれど、良い人ばかりですごく楽しい一日になりました。親切にしてくださりありがとうございました。楽しかったです!(青木優衣)
- ・不安だったけどコミセンの方やお店の方が優しく分かりやすく教えてくださり、気さくに話しかけていただき楽しく面白かったです。貴重な経験ありがとうございました!(神田羽嬪)
- ・特に印象に残ったのは地域の方々の仲の良さです。文化祭は地域の交流として大切な行事だと思いました。一員として文化祭を盛り上げることができてよかったです!(延本紘代)

阿宮地区グラウンド・ゴルフ大会

スポーツ部

10月26日(日)午後2時から第33回阿宮地区グラウンドゴルフ大会を開催しました。曇りから雨となる中での開催となりましたが、各自治会から45名の皆さんの参加があり、日頃会えない他自治会の方と和やかに談笑されながらグラウンドゴルフを楽しみました。

ホールインワンが出るたび歓声が上がるなど皆さんの健闘が光りましたが、雨が強くなり1ラウンドで終了しました。集会所での表彰式は狭かったものの肩を寄せ合い盛り上がりしました!

◆団体の部◆

優勝 上出西1自治会
準優勝 上阿宮4自治会
三位 上阿宮2自治会

◆個人の部◆

優勝 笠谷 保(上阿宮2)15打
準優勝 池田幹夫(上出西1)15打
三位 笠谷勝男(上阿宮3)16打



アルミ缶回収量 10 月分

50 kg (前月 40 kg)

引き続きご協力をお願いします!

出雲市環境保全連合会 阿宮支部

裏面にも
記事が
あります
ご覧
ください

発行日: 令和7年(2025) 11 月 20 日

発行: 阿宮コミュニティセンター 総務部

〒699-0611 出雲市斐川町阿宮2323-2

TEL.0853-72-9142 FAX.0853-72-9152

Mail: agu-cc@local.city.izumo.shimane.jp

島根県原子力防災訓練(住民避難訓練)

原子力防災

11月9日(日)原子力防災訓練に阿宮地区からは7名が避難者として参加しました。避難所への流れを紹介します。①阿宮コミセンで避難者受付 ②安定ヨウ素剤を(今回は代用の飴)受取り ③避難経路時検査場所の佐田行政センターへバスで向かいました。到着後は ④バスの中で待機したまま放射性物質の付着がないか表面汚染測定器を使いバスのワイパーや車両の検査がなされた後、検査済証を受け取りました。阿宮地区避難者はそのまま次の ⑤避難経路所の佐田スポーツセンターへ移動して 検査済証の確認と健康状態の確認が行われ ⑥避難所の旧乙立小学校へ到着しました。

(実際は広島県安芸太田町の戸河内ふれあいセンターへ避難します)

講演では原子力規制委員会の方から原子力災害についてや屋内退避の手順などを学びました。ダンボールベッドの作り方を体験したり、校庭では無人小型ヘリコプターによる上空からのモニタリング訓練を見学しました。

原子力災害は、目に見えない、臭わない、肌に感じない等ありますが、放射線測定器によって見える化することができます。事故発生時はまずは屋内退避です。情報収集に心がけ、自治体からの指示に沿って落ち着いて行動することが最も大切です。

阿宮地区災害対策本部長 原 敏明



地域は人なり 黒川地区研修

専門部視察研修

10月28日(火)世羅町黒川自治センターに14名が訪問させていただきました。日常生活に欠かせない、買い物や病院へ出かけるための移動手段の状況をお聞きして意見交換しました。完全なボランティアである「ボランティア移動支援サービス」は全国初ということで、共助の地区づくりを進められておられる説明に参加者から多くの質問がありました。

(藤戸センター長から)

世羅町黒川地区は270世帯554人が暮らし高齢化率57.4%で、公共交通のない地域の一番の困りごとは移動です。

ボランティア移動支援サービスは、事故が発生した場合の責任、安全の担保をどう推進するか、ドライバーの確保などの課題を話し合い、解決しながら昨年からスタートした。各区(自治会)2名以上のドライバーを確保でき、今は黒川地区内の移動だがさらに移動できる範囲を広げていきたい。地域には高齢者しかいないが課題対応の考え方は「自分たちの地域は、自分たちで守る。助け合う」が基本です。「地域は人なり」で結ばれました。



農林水産省農村振興局長表彰

全国表彰

第47回全国土地改良大会が10月15日(水)佐賀県に於いて、全国から4,500名の参加(島根県は56名)のもと盛大に開催されました。その席上、図らずも私が全国表彰に当たる農林水産省農村振興局長賞の栄誉を賜りました。

受賞理由は平成8年に阿宮地区に圃場整備事業の気運が高まり、斐川地区土地改良区に加盟して以来、総代12年、理事16年、その間に圃場整備は平成18年に完成しました。28年もの長きにわたり改良区の役員として関わらせていただいたことが評価されたものです。

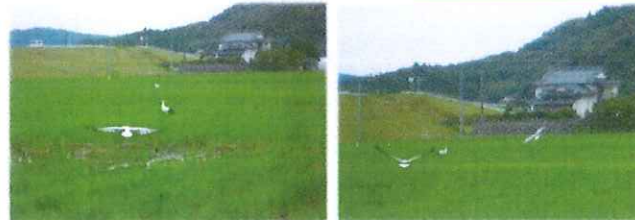
これは私一人の力ではなく、まわりの沢山の人の御支援、御協力があったからです。感謝しています。ありがとうございました。 星野 勉



幸せを運ぶ鳥コウノトリ

阿宮の風景

10月22日(水)
上阿宮の田んぼに
久しぶりにコウノトリ
がやってきました。
3羽は盛んに餌をつい
ばんでいました。



あぐ花の会 10/18

あぐ花の会

阿宮の文化祭を前に、育てていた花苗をコミセン庭に移植しました！
パンジー・金魚草・なでしこ・ネメシア等があります。
来年の春までに、来館される方々を歓迎できるよう、色とりどりの花を咲かせてくれると嬉しいです。



晩俳句会

秋	狭	手
麗	霧	に
や	ま	取り
女	つ	て
性	お	夕
初	ろ	焼
なる	ち	け
る	の	色
新	河	の
魁	を	柿
理	鹿	を
	渡	剥
	る	く
藤	保	三
原	科	加
景	明	茂
子	子	和
		雲

阿宮川柳会

い	物	逃
が	偽	げ
い	高	る
が	逃	より
を	げ	状
ま	足	況
ど	早	把
っ	い	握
て	ワ	冷
い	ン	静
る	コ	に
の	イ	
に	ン	
黙		
え		
さ		
福	原	古
田	磯	村
三	五	毒
四	郎	三
湖		部